

# Fleur de soleil

\*フルール・デ・ソレイユ：フランス語で太陽の花“ひまわり”を意味します\*



ひまわり 歯科

〒940-0864 新潟県長岡市川崎2-2478-1  
TEL : 0258-37-7778 / FAX : 0258-37-7775  
HPアドレス <http://www.himawari-dental.jp/>

## 院長挨拶

9月中旬までは猛暑が続いていましたが、10月に入り気温も下がり、秋の訪れを感じるようになりましたね。



先日、厚生労働省担当者の方から、将来の日本が進む方向を学ぶ機会がありました。主旨は「**地域共生社会を目指す!**」というもので、お話を聞いた後に、私と同席した妻が顔を見合わせるほど驚きました。



厚生労働省の資料を見ると、**地域共生社会**とは「**社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すもの**」と定義されています。

非常に分かりにくい表現ですが、狙いとしては「**福祉改革**」です。今は「**高齢者は介護サービス」「障害者は障害福祉サービス」「子供は子育て支援**」といったように対象者ごとに相談窓口やサービスが分かれているのを、丸ごとまとめてしましましょう。そして、他人事と受け止めるのではなく「**我が事**」として受け止めて行動できる住民を増やしていこう、というものです。

誰がやるのか!



つまり、国は福祉にあてる財源を確保できないので、市町村や地域の住民に「**あなた達で何とかしてね!**」と言っているのに等しいわけです。でも、誰が地域ごとの具体像を描き、引っ張っていくのでしょうか。そのための人材育成は、どうするのでしょうか。私と妻が驚いたのは、現状は国の無策が招いた結果であるにもかかわらず、責任を持って解決しようとする姿勢が伝わってこないからです。

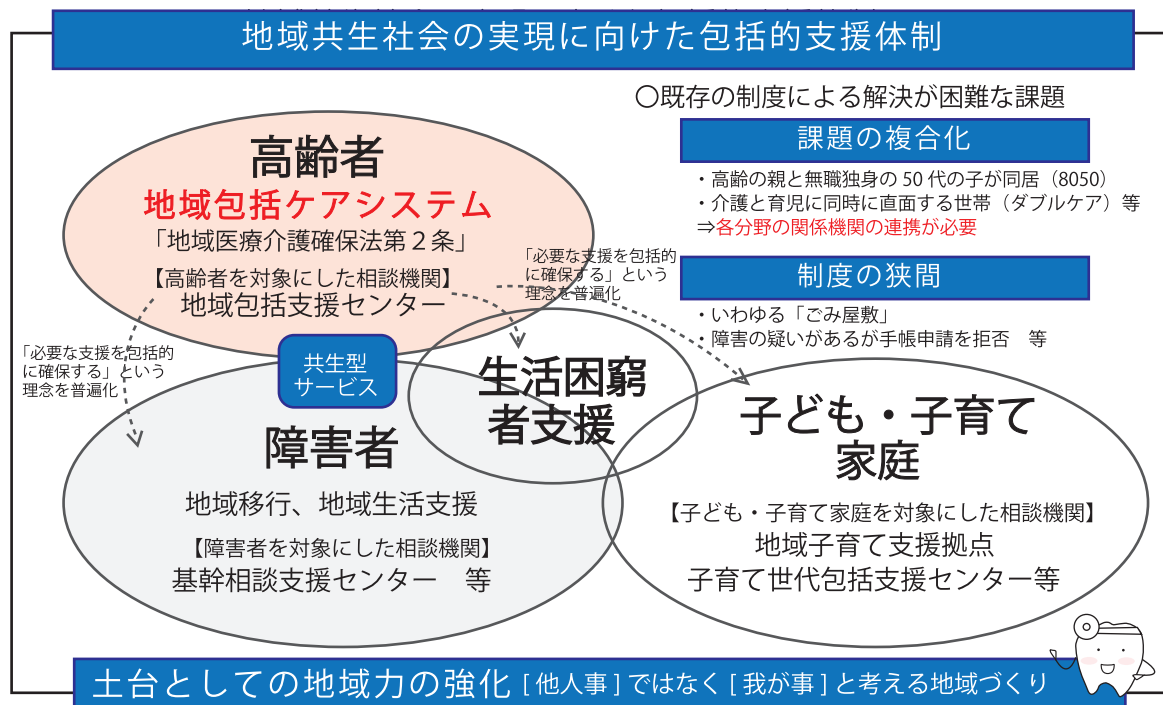
裏面へ続く



しかし、怒っているだけでは何も進みません。私達は医療提供者でもあり、地域住民でもあります。地域で生きる方々に対し、医療者目線と住民目線でしっかりと支援していくことが、将来の私達が住みやすい地域になるために大切だと考えています。

現時点では「訪問歯科診療」を通し、在宅介護中の方が美味しく安全に食事が可能になる取り組みをしています。これからも効果的な取り組みを継続します。皆様のご意見・ご要望をお聞かせいただきましたら幸いです。

院長 北沢 敦



厚生労働省資料

## 万能ねぎでささっとパスタ



◆ねぎのピリッとした刺激は、玉ねぎやニンニクにも含まれている硫化アリルという物質です。その中の一つであるアリシンは、食欲や消化器系の働きを高めたり、血行を良くするという効果があるようです。夏の疲れが出る秋の食卓にいかがでしょうか？

材料（2人分）

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| パスタ・・・200g                   | しょう油・・・大さじ1     |
| 万能ねぎ・・・約10本<br>(お好みで増やして下さい) | 和風だしの素・・・小さじ1   |
| 豚バラ・・・50g                    | 塩コショウ・・・適量      |
| ニンニクのみじん切り・・・1片分             | きざみのり・・・適量      |
| 生姜のみじん切り・・・約小さじ1             | オリーブオイル・・・約大さじ1 |

作り方

万能ねぎは2～3cmに切り、豚バラ肉は細かく切って塩コショウしておく。  
 パスタは書いてある時間どおりに茹で、その間に、フライパンにオリーブオイル、ニンニクと生姜のみじん切りを入れ、焦げないように炒めたら豚バラを入れて炒める。豚バラに火が通ったら、切った万能ねぎを入れ軽く炒めます。和風だしの素としょう油を入れよく混ぜ合わせ、塩コショウで味を整え、弱火にしておく。そこへ茹で上がったパスタを入れて強火にしてさっと混ぜ合わせます。器に盛り上にきざみのり（お好みで生姜の千切りも）を飾って出来上がりです。

